

保証書

本書は、保証期間内に取扱説明書、本体表示等の注意書きに従って正常な使用状態で使用して故障した場合には、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から、下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちのうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

		対象部分	本 体	保証の条件	持込修理		
品名／型名	ホットウェットペーパー供給器「ホットルプロ」 HPR-100						
※お買上げ年月日	年	月	日	保証期間	1年	部品代/工料	無 料
※お客様	ご住所 お名前 TEL						
※販売店	住所・店名						

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) お取り扱い上の不注意・天災・火災・公害・異常電圧・指定以外の使用電源による故障、損傷及び部品の当然の消耗などの場合。
 - (ロ) ご自分で不当な修理・調整・分解・改造等をされたもの及び取扱説明書、本体表示等の禁止事項での使用による故障及び損傷。
 - (ハ) お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - (ニ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名欄の記入、または押印がない場合。あるいは、字句を書き換えられた場合。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
- ご転居、ご贈答などで、お買上げの販売店に修理が依頼できない場合は取扱説明書に記載してある当社までご連絡ください。
 - 本書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
 - 本書は、盗難・火災等の不可抗力以外で紛失された場合は、再発行致しませんので大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ販売店、または取扱説明書に記載の当社までお問い合わせください。
 - 保証期間経過後の修理・補修用性能部品の保有期間について詳しくは、アフターサービスの項をご覧ください。

ホットルプロ
Hottle Pro

ホットウェットペーパー供給器「ホットルプロ」 HPR-100

取扱説明書

このたびは、お買上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しい使い方で末永くご愛用ください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1～4
各部の名称	5
正しい使い方	6～7
お手入れの方法	8
修理を依頼される前に	9
アフターサービスについて	10
仕様	10
保証書	裏表紙

安全上のご注意

※ご使用前に

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをした場合、使用者が傷害を負ったり物理的損害の発生が想定される内容を示します。

記号について



禁止

この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。



強制

この記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。



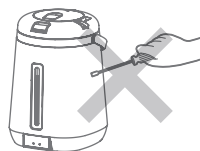
警告



禁止

●修理技術者以外の人、絶対に分解・修理は行わないでください。

感電・火災・けが・故障の恐れがあります。



禁止

●水につけたり、かけたりしないでください。
●ぬれた所や屋外では使用しないでください。
●ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。
ショート・感電の恐れがあります。



禁止

●お湯の中に手や指を入れないでください。
やけどの恐れがあります。



禁止

●上ふたユニットを外して使用しないでください。
やけどの恐れがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い。

必ず「販売店印及びお買上げ日」をご確認の上お買上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買上げ日より1年間です。

3. 修理を依頼されるとき

《保証期間中》

製品保証書を添えて、お買上げの販売店にご持参ください。保証書の内容に基づき修理いたします。

《保証期間経過後》

お買上げの販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。

4. ホットルプロの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。

・性能部品とは、その製品の機構を維持するために必要な部品です。

5. 上記の内容についてご不明な点、その他製品に関するお問い合わせは、お買上げの販売店、または当社までお問い合わせください。

※お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。

仕様

型名	HPR-100	
定格電圧	交流100V(50Hz・60Hz共用)	
消費電力	加温時	390W
	保温時	14W
外形寸法	幅	227mm
	奥行	238mm
	高さ	359mm
重さ(電源コードを含む)		2.5kg
容器容量		4.3L
温度ヒューズ		113℃
コードの長さ		1.4m

・保温時消費電力は、電圧・交流100V、室温20℃、満水保温の場合です。
・日本国内100V専用(定格100V以外の電源では、使用できません。)
・特定地域(高山・厳寒地など)においては、所定の性能が確保できないことがあります。
こうした場所での使用は、なるべくおさげください。

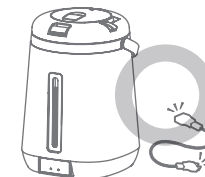
修理を依頼される前に

このような場合	確認と処置
電源ランプが点灯しない	プラグがコンセントまたは、プラグ差し込み口からはずれていませんか？ しっかりと差し込んでください。
	マグネットプラグにピンやゴミが付着していませんか？ ゴミを取り除いてください。
専用ティッシュが 取り出しにくい	ティッシュが正しくセットされていますか？ “正しい使い方”を参考に専用ティッシュをセットし直してください。
専用ティッシュが冷たい	プラグがコンセントまたは、プラグ差し込み口からはずれていませんか？ しっかりと差し込んでください。
専用ティッシュがぬるい	保温ランプは点灯していますか？ 保温ランプが点灯してから使用してください。
上ふたユニットが きちんとしまらない	上ふたユニットがきちんとセットされていない可能性があります。 “正しい使い方”を参考にセットし直してください。

※いずれの場合にもあてはまらない場合は、お買い求めの販売店または、当社までご連絡ください。



- マグネットプラグにピンやゴミなどが付着したまま使用しないでください。
 - 長期間使用しない時は、電源コードをコンセントから抜いてください。
- やけど・感電・漏電・火災の原因になります。



- ふたの開閉で水滴がたれることがあります。プラグ差し込み口を濡らさないでください。
- やけど・感電・漏電・火災の原因になります。



- 操作を知らない人や、子供に使わせたり、幼児の手の届く所に置かないでください。
- やけど・感電・けがをする恐れがあります。



- 空だきはしないでください。
- 火災・故障の原因となります。



- 通電させたまま、水や専用ティッシュを入れ替えないでください。
- 感電の恐れがあります。



- 水をタンク内のここまで線（上限水位）より多く入れないでください。
- やけど・感電・故障の恐れがあります。



- 水道水以外の液体（薬品など）を入れないでください。
- やけど・火災・有害物質発生・サビの恐れがあります。



- (ぬれている)専用ティッシュでコンセントや電気製品を拭かないでください。
 - 使用後やお手入れの際は必ず電源コードを抜いてください。
- やけど・火災・感電・故障の恐れがあります。



- コードは束ねて通電しないでください。
- コードが過熱し、火災・発煙・発臭・断線・感電の恐れがあります。

⚠ 注意



禁止

- 沸かしたお湯を注がないでください。

やけどの恐れがあります。



強制

- 底じき金具を取り外しての使用はしないでください。

故障の恐れがあります。



禁止

- 水道水の蛇口から直接注水しないでください。

- 先に水を入れてから専用ティッシュを入れないでください。

感電・故障の恐れがあります。



強制

- 専用ティッシュ以外は使用しないでください。

有害物質発生・故障の恐れがあります。



禁止

- 長期間、水や専用ティッシュを入れたまま放置したものを再使用しないでください。

有害物質発生の恐れがあります。



禁止

- 冷水や氷を入れ、低温用として使用しないでください。

結露し、感電・故障の恐れがあります。



禁止

- 本体内部のお湯を飲まないでください。

飲用としては有害の恐れがあります。



お手入れの方法

必ず電源コードを取り外し、残ったお湯を捨て本体が冷めてから、お手入れをしてください。
製品の丸洗いは絶対にしないでください。

内容器

柔らかいスポンジで洗い、水ですすいでください。

本体・上ふたユニット

柔らかい布を水に浸し、固く絞って拭いてください。
プラグ差し込み口には絶対水をかけないでください。

内容器の変色について

赤さび状の斑点(もらいさび)・乳白色・黒色等の変色は水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器自体の変色や腐食ではありません。衛生上問題はありませんが、定期的にお手入れをしてください。

① 本体に定格容量の水を入れ、その水の中にクエン酸を約30g(大さじ2〜3杯)入れて沸かし、2〜3時間保温状態のまま放置します。

② 放置後、お湯を捨て、柔らかいスポンジなどで軽くこすり水ですすぎます。

③ クエン酸の臭いを取るために再び湯を沸かし、その湯を捨てます。

④ なお、汚れが取りにくい場合は、上記のお手入れを繰り返し行っていただくかまたは保温時間を長く(12時間)していただくと取れやすくなります。

※ 内容器にフッ素樹脂加工をしていても長期間お手入れをしないと汚れが取れにくくなります。

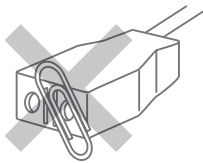
ご注意

- ・ベンジン、シンナーなどの溶剤、塩素系漂白剤、みがき粉、たわしなどを使わないでください。
- ・上ふたユニットを食器乾燥器などで乾燥させないでください。変形、変色することがあります。

湯沸かし、保温

- マグネットプラグにピンやごみなどが付着していないか確かめてから、差し込んでください。

- ① マグネットプラグを本体に接続してから、差し込みプラグをコンセントに差し込みます。
- ② 加熱ランプ（赤）が点灯し、自動的に加熱をはじめ、約40分後に保温に切り替わります。保温時は保温ランプ（緑）が点灯します。



マグネットプラグの確認

専用ティッシュの取り出し

- 水位計を確認し、給水ラインに達する前に水を補充して下さい。
- ご使用後の専用ティッシュは可燃物として処理し、トイレに流さないでください。
- 目安として1週間程度で使い切ってください。

- ① 取り出しレバーを引き、取り出しふたを開け、専用ティッシュを絞りローラー付近からつまんで真上方向へ引き出します。ティッシュにあるミシン目の部分でカットされ、適量の水分を含んだティッシュが取り出せます。
- ② ティッシュを取り終えたら、取り出しふたを閉めてください。
※専用ティッシュがローラーから外れてしまった時は、取り出し棒でティッシュを内側から引き出し直してください。
※ご使用を続けて本体内部の専用ティッシュが最終部になりますと、場合によっては数枚のティッシュが重なり、取り出しにくくなる場合があります。



保管時

- ① 電源コードを本体から外します。
- ② 上ふたユニットを本体から外して下さい。
- ③ 内容器の残り湯を捨てます。捨て終わったら内容器の底へセットした底敷き金具を取り出します。
- ④ 上ふたユニット、本体内容器、底敷き金具をよく乾かしてから保管して下さい。
※専用ティッシュ、水を入れたまま長時間放置しないでください。また、放置したものを再使用しないで下さい。
※残り湯を放置すると、内容器のさびやにおいの原因になります。



禁止

- 移動する時にふたを持ったり、傾けたり、振りまわしたりしないでください。
- 本体に強いショックを与えたり、落とさないでください。

やけど・感電・破損・故障の恐れがあります。



禁止

- 不安定な場所や転倒しやすい場所に置かないでください。
- 燃えやすい物のそばに置かないでください。

やけど・火災の恐れがあります。



禁止

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、引張ったり、ねじったりしないでください。また、重いものを乗せたり、挟み込んだり加工しないでください。
- 傷ついた電源コードを使用しないでください。
- 差し込みプラグを抜く時は、コードを持たずに必ず先端を持って引き抜いてください。

感電・火災・ショート of の恐れがあります。



禁止

- 使用直後のお手入れはしないでください。
- やけどの恐れがあります。



強制

- 使用時や専用ティッシュの詰め替え時には、衛生に充分注意してください。
- お肌に合わない場合や異常を感じましたら、ご使用はおやめください。
- 局部および目や口腔内の粘膜への直接のご使用は、おやめください。

疾患等の恐れがあります。

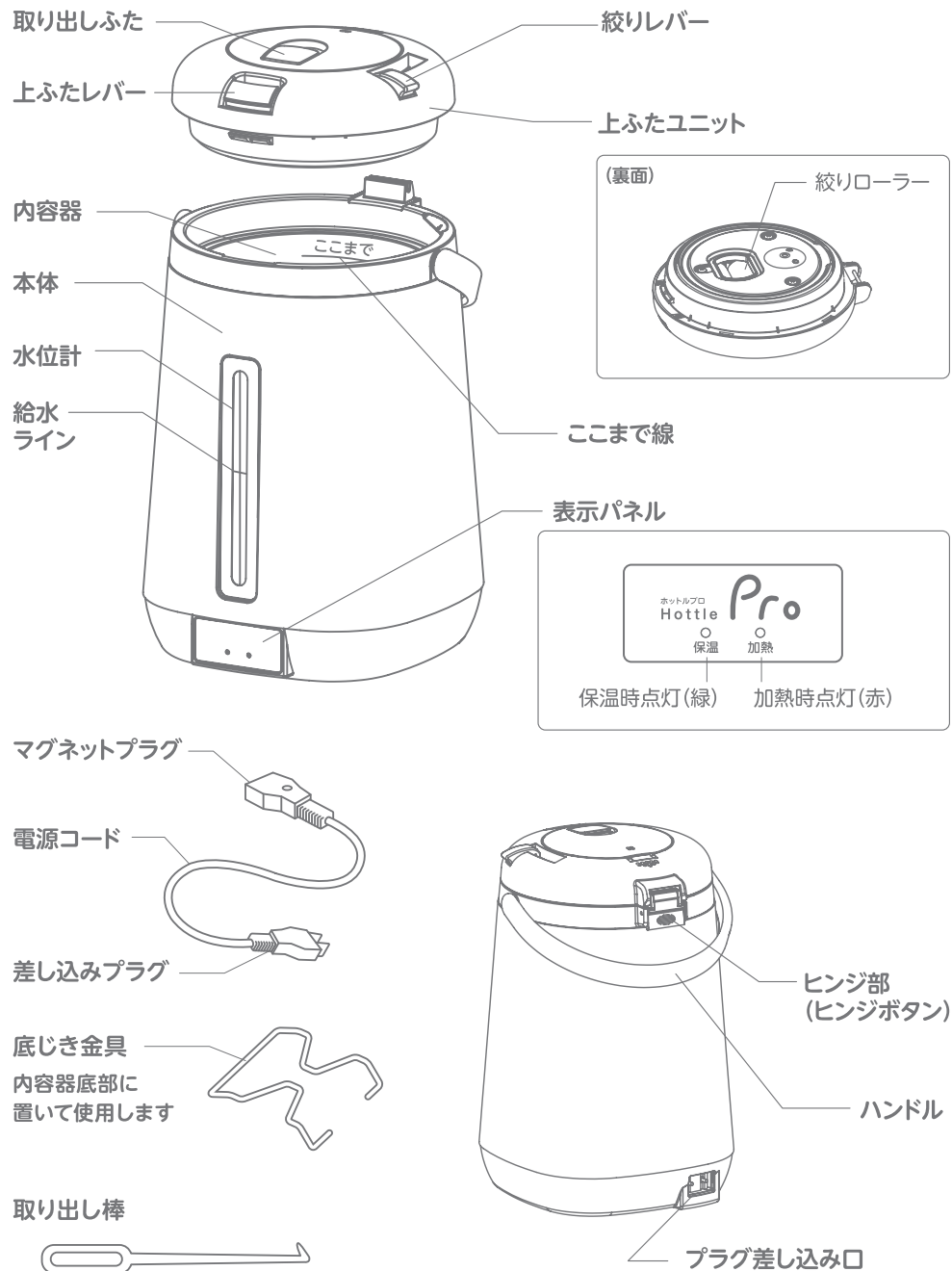


強制

- 水を入れる、または捨てる際は上ふたユニットを必ず外してください。
- 専用ティッシュの詰め替え時は、上ふたユニットに十分注意してください。

ケガ・やけど等の恐れがあります。

各部の名称



正しい使い方

専用ティッシュと水の補給

- ・電源コードを、必ずコンセントから抜いておいてください。
- ・「安全上の注意」を読み、適切な平らな場所に設置してください。(使用の際、水滴がたれるなどの可能性があるため、畳やカーペットの上でのご使用はお控えください。)

- ① 上ふたレバーを引き上げ、ヒンジボタンを押して、上ふたユニットを本体から外して下さい。
- ② 付属の底じき金具を内容器の底へセットします。
- ③ 専用ティッシュを 1 本用意し、内容器へセットします。
- ④ やかん等を使い、内容器のここまで線 (上限水位) まで水を注ぎます。
- ⑤ 上ふたユニットを本体のヒンジへ取り付け、取り出しふたはあけておきます。
専用ティッシュの中心からティッシュの端をつまみ、上へ引き出します。
※上ふたユニットが閉じて、指を挟んでケガをする恐れがありますので、十分にご注意下さい。
- ⑥ 取り出しふたの横にある絞リレバーのロックを外し、スライドさせて絞リローラーの隙間をあけます。引き出したティッシュを上ふたユニットのローラーの隙間へ通します。
- ⑦ 上ふたユニットを閉めます。
※後ろ側のヒンジと前側の上ふたレバーが本体にしっかりはまっていることを確認してください。
- ⑧ 絞リレバーのつまみをスライドさせ、絞リレバーをロックします。
- ⑨ 専用ティッシュを使い切った後は、上ふたユニットを取り外し、残り湯を捨ててください。

